

〔第一卷 目次〕

解説 藤野 豊 (1)

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

〔公娼制度廃止関係起案綴 昭和二十年以降〕

- 一——貸座敷営業取締ニ関スル件警保局行警発申第一四号●内務省警保局長●一九四五・一一——1
- 二——公私娼、特殊慰安施設等ノ調査ニ関スル件警保局公安発申第二号●内務省警保局長●一九四五・一二——3
- 三——聯合軍最高司令部命令 日本ニ於ケル公娼廃止ニ関スル件●参謀副官補佐官●一九四六・一一——14
- 四——聯合國最高司令部ヨリ公娼廃止ノ指令有之タル為關係庁府県宛左案ニ依リ一応電報指示相成可然哉
●内務省警保局公安課長●一九四六・一一——18
- 五——貸座敷営業取締ニ関スル件●警保局長●一九四六・一一——20
- 六——娼妓取締規則廃止ニ関スル件伺●警保局長●一九四五・一一——43
- 七——公娼制度廃止ニ関スル件通牒公安第九号●警保局長●一九四六・一一——47
- 八——主題「日本ニ於ケル公娼廃止」ニ関スル件●最高司令官代理●一九四六・一一——52
- 九——公娼制度廃止ニ関スル件通牒警保局公安発申第九号●内務省警保局長●一九四六・一二——54
- 一〇——公娼廃止ニ関スル件●(一九四五・一二)——56
- 一一——〔娼妓取締規則廃止〕●警保局長●一九四六・一二——59
- 一二——〔愛媛県及香川県警察部長照会の件に關シ回答〕●公安課長●一九四六・一一——61
- 一三——公娼制度の廃止に關する指導取締の件警保局公安発申第二八号●内務省警保局長●一九四六・一五——63

- 一四—公娼制度の廃止に関する指導取締について公安二発第十二号●内務省警保局公安第二課長●一九四六・八—72
- 一五—「日本に於ける公娼廃止の件」措置に関する件警保局公安二発乙第五五号●警保局長●一九四六・九—81
- 一六—警察犯処罰令の一部改正について●一九四六・二—86
- 一七—〔朝鮮人婦女雇傭の件〕●内務省公安課長●一九四六・一—92
- 一八—最近の風俗取締対策について警保局公安発甲第七五号●警保局長●一九四六・二—102
- 一九—私娼の取締並びに発生の防止及び保護対策●(一九四六・二)—118
- 二〇—公娼制度廃止についての連合国最高司令部發覺書の実施に関する勅令制度について●一九四六・二—143
- 二一—「婦女に売淫させた者等の処罰に関する勅令施行について新聞発表」の件●一九四七・一—151
- 二二—「婦女に売淫させた者等の処罰に関する勅令」の施行について●一九四七・一—160
- 二三—「婦女に売淫させた者等の処罰に関する勅令公布について」●内務省警保局長●一九四七・一—173
- 二四—行政警察執務資料調査方について●内務省警保局公安第二課長●一九四七・五—175
- 二五—行政警察執務資料送付について伺●内務省警保局公安第二課長●一九四七・九—194
- 二六—「おいらん道中」に関する投書移送●企画課長●一九五〇・五—198
- 二七—警視庁公安委員会に移牒のこと●一九五〇・五—202
- 二八—日本封建制のアジア的性質奴隷制の二形態としての養子『中央公論』62年5号●川島武宜●一九四七・五—217
- 二九—養子縁組と人身売買『法律文化』3巻3・4号●西村信雄●一九四八・四—231
- 三〇—Sale of Children/Reporting on Kidnapping and Selling of A Child/
Survey of Alleged Traffic in Children in Tochigi Prefecture/
Conference Concerning News Story Quoting Mr.Kojima, Chief, Children's Bureau on Child Slavery/
Child "Slavery" Investigation Program for Tochigi Prefecture 日本占領関係資料●一九四八—233

- 三二 所謂人身売買問題について●永井健二●一九四九・一——243
- 三三 座談会少年身売問題の実体を衝く『人権』5号●大室 関／高柳武男／川島武宜／稲田／内藤誠夫／堀秀夫／坂元彦太郎／永田久右衛門／藤本喜八／出射義夫／平賀健太／黒崎貞治郎●一九四九・二——247
- 三三 農業における所謂「人身売買」事件の監督について『労働法令旬報』28号●一九四九・二——264
- 三四 人身売買談義『労働基準』3巻2号●広政順一●一九四九・二——266
- 三五 身売の生態と原因の考察●平田秀子●一九四九・三——270
- 三六 売られゆく子供たち「雇いっ子」の村を訪ねて『女性改造』4巻3号●永田久●一九四九・三——279
- 三七 子どもの身売り問題と児童観『教育と社会』4巻3号●桜井庄太郎●一九四九・三——283
- 三八 娘の身売りが始つた農村恐慌迫る！『うら・おもて』8号●一九四九・三——289
- 三九 人身売買はどう裁くか『新警察』4巻3号●城南陽士●一九四九・三——290
- 四〇 人身売買事件レポート『徳島労基月報』2号●監督課●一九四九・三——291
- 四一 人身売買の問題『日本農業』5巻3号●玉城肇●一九四九・三——300
- 四二 所謂「人身売買」事件の取締りについて『労働時報』2巻4号●労働基準局●一九四九・四——304
- 四三 特殊飲食店の接客婦に対する労働基準法の適用について『労働時報』2巻4号●労働基準局●一九四九・四——306
- 四四 売られゆく子供等人身売買の実話と批判『婦人』22号●川島武宜●一九四九・四——308
- 四五 売られゆく子供たち人身売買事件現地報告『婦人公論』383号●松本宗次●一九四九・四——313
- 四六 農村に於ける人身売買について『大阪労働基準時報』3号●監督課●一九四九・四——316
- 四七 貧困と無智 春に背く人々人身売買の村を往く『さきがけ』5巻4号●一九四九・四——319
- 四八 人身売買の全貌『旋風』2巻3号●城啓介●一九四九・四——323
- 四九 人身売買の生態『新しい教育と文化』3巻3号●村野民夫●一九四九・四——326

- 五〇——人身売買と産児制限の問題『新潟評論』23号●小林存●一九四九・四——331
- 五一——年少者と労働基準法人身売買にふれて『農民大学』11卷4号●桑原敬一●一九四九・四——333
- 五二——人身売買『青い花』23号●青木鈴●一九四九・四——341
- 五三——農村の悲劇 児童人身売買の真相を衝く『真相実話』創刊号●津多草作●一九四九・五——344
- 五四——所謂「児童の人身売買事件」について『警察時報』4卷6号●斎藤勇●一九四九・六——347
- 五五——少年農奴『青鉛筆』2卷1号●一九四九・六——352
- 五六——里親制度について『母と子』4号●三井義資●一九四九・七——356
- 五七——集団里親 情島便り『母と子』4号●中野斌●一九四九・七——360
- 五八——情島紀行『山口県教育委員会弘報』1年6号●大岡昇●一九四九・七——363
- 五九——人身売買 人権擁護の立場から『母と子』1巻1号●西塚静子●一九四九・七——364
- 六〇——人身売買とその背景第一回『秋田教育』18号●村井英夫●一九四九・七——365
- 六一——人身売買とその背景第二回『秋田教育』19号●村井英夫●一九四九・八——369
- 六二——人身売買とその背景第三回『秋田教育』20号●村井英夫●一九四九・九——373
- 六三——人身売買・婦人警官お手柄私の捜査日記『警死』2巻9号●編集室／宮本秋子／中山桂●一九四九・九——378
- 六四——「人身売買問題に関する労働省報告書」●労働省●一九四九——382
- 六五——いわゆる人身売買事件に関する報告書●労働省婦人少年局年少労働課●一九四九——434

〔第2巻 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

- 六六——人身売買の問題潜在的奴隷関係について『東洋文化』1号●川島武宜ほか●一九五〇・一——1
- 六七——羽後飛島の人口問題『山形大学紀要(人文科学)』1号●長井政太郎●一九五〇・三——28
- 六八——調査いわゆる『人身売買』について石越村報告『東北法学会雑誌』1号●中川善之助/木村慎一/山島正男●一九五〇・八——51
- 六九——人身売買問題と出席簿調査『社会事業』35巻12号●大久保正一●一九五〇・二——72
- 七〇——人身売買の法律関係(一)芸娼妓丸抱契約の効力について『法学協会雑誌』68巻7号●川島武宜●一九五二・二——77
- 七一——人権思想の現状●法務府人権擁護局●一九五二・三——91
- 七二——婦女誘拐業者の本拠を衝くこの一文を田中警視總監に捧ぐ『女性改造』6巻6号●本誌記者●一九五二・六——124
- 七三——民主的農業労働の育成人身売買の悪習を打破『職業安定広報』2巻6号●稲葉金四郎●一九五二・六——131
- 七四——人身売買/人権侵犯事件統計『人権侵犯事件処理例集』●法務府人権擁護局●一九五二・六——135
- 七五——婦女及び児童売買に関する罪『警察研究』22巻6号●草野豹一郎●一九五二・六——145
- 七六——「南京小僧」を現地に探る羽後飛島の貰い子制度『毎日情報』6巻7号●武田蚯蚓●一九五二・七——155
- 七七——人権侵犯事件処理実例集第二輯●東京法務局人権擁護部●一九五二・九——159
- 七八——農村不況と人身売買事件『社会運動通信』289号●一九五二・九——187
- 七九——根絶えぬ人身売買『労働基準』3巻10号●一九五二・一〇——190
- 八〇——女『労働基準』3巻10号●一九五二・一〇——190
- 八一——所謂人身売買事件に関する新潟地検の調査報告『検察月報』33号●一九五二・二——194
- 八二——民主日本の人身売買『農林春秋』2巻2号●本誌特派記者●一九五二・二——211

- 八三——人身売買取締関係資料●法務府検務局●一九五二・二——227
- 八四——「人身売買対策」にのぞむ『労働時報』5巻3号●一九五二・三——275
- 八五——人身売買の問題『労働時報』5巻3号●労働基準局●一九五二・三——276
- 八六——人身売買に関する前橋地検の調査『検察月報』36号●法務府検務局●一九五二・三——280
- 八七——人身売買とその対策●志道好秀●一九五二・三——296
- 八八——「人身売買に関する照会の回答について」人身売買及び他人の売春からの搾取の禁止に関する条約関係(第1巻)

〔第3卷 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

- 八九—人身売買の背景農家はどこへゆく『景気観測』71号●一九五二・四——1
- 九〇—だまされた女工さん人身売買の危険をふせげ『景気観測』71号●神崎清●一九五二・四——2
- 九一—人身売買『社会事業』35巻4号●山口弥一郎●一九五二・四——5
- 九二—人身売買をめぐる刑事上の諸問題『警察時報』7巻4号●石井春水●一九五二・四——9
- 九三—女子及年少者の人身売買に関する報告書●行政監察特別委員会●一九五二・四——12
- 九四—いわゆる人身売買事件について『日労研資料』5巻16号●一九五二・四——41
- 九五—人身売買の実態と捜査の要点『衆望』7巻5号●黒田兵吾●一九五二・五——43
- 九六—人身売買をめぐる職業安定機関の立場『職業安定広報』3巻5号●雇用安定課●一九五二・五——57
- 九七—人身売買の種々相とそれを根絶する方策『職業安定広報』3巻5号●大塩元太郎●一九五二・五——59
- 九八—新潟県下の人身売買を衝く『職業安定広報』3巻5号●貝瀬弘●一九五二・五——61
- 九九—年少労働と人身売買の実態『社会教育』7巻5号●徳永はな江●一九五二・五——63
- 一〇〇—乙女は何処へ／私見●杉山由蔵●一九五二・五——67
- 一〇一—警察官の証言について里親制度と人身売買『社会事業』35巻7号●神崎清●一九五二・六——84
- 一〇二—国会で問題になった人身売買事件『主婦と生活』1952年6月号●一九五二・六——92
- 一〇三—人身売買の倫理窓口の実話から『職業安定広報』3巻7号●岡本正男●一九五二・七——99
- 一〇四—人身売買の実態と法の盲点『法律のひろば』5巻7号●内藤隆●一九五二・七——101
- 一〇五—人身売買防止運動●福島県●一九五二・八——105

- 一〇六―人身売買〔警察文化〕4巻9号●鶴田正三●一九五二・九―115
- 一〇七―人身売買(その二)〔警察文化〕4巻10号●鶴田正三●一九五二・一〇―119
- 一〇八―秋田県における人身売買の問題〔青少年の問題〕1号●秋田県民生部児童課●一九五二・一一―125
- 一〇九―人身売買防止についての協議〔会県下各郡市で開く〕〔青少年の問題〕1号●一九五二・一二―134
- 一一〇―〔T村の事例メモ〕●永井健二●(一九五二)―135
- 一一一―人身売買カード●(一九五二)―137
- 一一二―娘も親も瞞されるな! 人身売買は横行する〔キング〕29巻1号●古内寅雄/藤沼宗四郎/原田貞之助/福島栄一●一九五三・一一―139
- 一一三―私はこう感じている〔青少年の問題〕2号(人身売買特集号)●神近市子●一九五三・三―153
- 一一四―人身売買の一斉取締実施〔青少年の問題〕2号(人身売買特集号)●一九五三・三―156
- 一一五―仙北に集団人身売買事件娘廿三人が悪周旋人の魔手に青少協も調査・対策に乗り出す〔青少年の問題〕2号(人身売買特集号)●小玉●一九五三・三―157
- 一一六―人身売買と関係法令〔青少年の問題〕2号(人身売買特集号)●一九五三・三―163
- 一一七―郡市の動きをみるアンケート〔青少年の問題〕2号(人身売買特集号)●一九五三・三―172
- 一一八―カメラのみる人身売買〔青少年の問題〕2号(人身売買特集号)●一九五三・三―174
- 一一九―カメラのみる人身売買アート写真版の解説〔青少年の問題〕2号(人身売買特集号)●岩崎良●一九五三・三―177
- 一二〇―編集後記〔青少年の問題〕2号(人身売買特集号)●S・K●一九五三・三―180
- 一二一―売春問題の対策に関する答申〔婦人と年少者〕創刊号●一九五三・三―181
- 一二二―奴隷制養子飛鳥のもらい子について〔中央評論〕25号●田村五郎●一九五三・五―184
- 一二三―身売防止運動の今昔〔婦人と年少者〕3号●藤田竹治●一九五三・六―197
- 一二四―売春婦並びにその相手方についての調査〔概要〕〔婦人と年少者〕3号●一九五三・六―200

- 二五 風紀に関する世論調査概要報告●労働省婦人少年局／総理府国立世論調査所●一九五三・七 202
- 二六 特別公務員による侵犯その他及び人身売買『人権擁護局報』6号●一九五三・九 217
- 二七 日本的人身売買『人民文学』4巻10号●林克也●一九五三・一〇 221
- 二八 現地報告凶作の東北農村をゆく『エコノミスト』31年40号●高内●一九五三・一〇 227
- 二九 人身売買のウラ街道『日本週報』26号●長田幹彦●一九五三・一〇 232
- 三〇 人身売買問題の背景関係法規は数々あれど？『時の法令』116号●渡辺祥輔●一九五三・一一 235
- 三一 凶作東北を往く『改造』34巻13号●桜井武雄●一九五三・一一 237
- 三二 東日本の冷害は深刻／現地報告凶作来る『農業朝日』8巻11号●渡辺●一九五三・一一 245
- 三三 婦人少年室協助員の設置について婦発第二五九号の二●労働省婦人少年局長●一九五三・一二 252
- 三四 売られゆく秋田美人『教育』3巻3号●横山一成●一九五三・三 268
- 三五 現地報告山に入る農民凶作の山村をゆく『農業朝日』9巻1号●渡辺●一九五四・一 272
- 三六 本誌記者の座談会 凶作地を歩いて技術・経営・生活の一面『農業朝日』9巻1号●一九五四・一 276
- 三七 愛光女子学園に收容される売春少女の実態『婦人と年少者』9号●大平エツ●一九五四 280
- 三八 座談会 いわゆる人身売買について昭和二十八年十二月二十三日労働省において『婦人と年少者』10号●一九五四・二 282
- 三九 年少者の不当雇用慣行いわゆる人身売買の状況『婦人少年局第五回資料調査の結果より』婦人と年少者10号●一九五四・二 287
- 四〇 売られゆく四つのケース山形県年少者不当雇用の実例『婦人と年少者』10号●山形婦人少年室●一九五四・二 290
- 四一 「いわゆる人身売買」の関係法規『婦人と年少者』10号●一九五四・二 293
- 四二 年少者のいわゆる人身売買の実態第五回資料調査をめぐって『労働時報』7巻2号●婦人少年局●一九五四・二 294
- 四三 特別誌上座談会 人身売買をめぐる諸問題『警察時報』9巻2号●中川薫治／青木誠四郎／池松文雄／原長栄／高柳勝二／内藤文質／戸田正直／藤田たき●一九五四・二 296

- 一四四―ルポルターージュ売られ行く娘たち人身売買を現地に探る『婦人朝日』9巻2号●伊藤永之介●一九五四・二―| 318
- 一四五―問題は青線区域東京警視庁管下の実例『婦人朝日』9巻2号●伊藤牧夫●一九五四・二―| 323
- 一四六―ルポルターージュ娘を売る凶作地『地上』8巻3号●大滝重直●一九五四・三―| 325
- 一四七―今日のリポート人身売買地帯を往く『改造』35巻4号●伊藤永之介●一九五四・四―| 331
- 一四八―警察職員による人身売買事件介入『人権擁護局報』8号●一九五四・六―| 342
- 一四九―人身売買山形県下行脚の記『教育技術』9巻7号●大杉謹一●一九五四・八―| 344
- 一五〇―ボタ山の労働者と主婦たち北九州の炭鉱町をあぐる『世界』108号●永島寛一●一九五四・二―| 349
- 一五一―炭坑地帯における長期欠席児童調●福島県平児童相談所●一九五四・二―| 364

〔第4巻 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

- 一五二―年少者婦人労働者の保護について労働局婦人少年課の案内『琉球労働』8号●比嘉栄子●一九五五・二——1
- 一五三―年期奉公の形で漁業に従事する青少年の保護対策実施要綱『琉球労働』9号●労働基準課●一九五五・三——4
- 一五四―警察官による人身売買事件介入『人権擁護局報』10号●一九五五・三——6
- 一五五―年少者の不当雇用慣行いわゆる人身売買の実態●労働省婦人少年局編●一九五五・三——8
- 一五六―人身売買事犯を解剖する捜査盲点にメス：『警察時報』10巻5号／6号●池田保之●一九五五・五——249
- 一五七―人身売買・虐待の問題「子供は守られているか——児童福祉の諸問題」●沖繩子供を守る会●一九五五・六——257
- 一五八―児童福祉審議会々議録第二回一九五五年以降児童福祉審議会議事録第十七号第三種●一九五五——262
- 一五九―人権尊重の世になお絶えぬ人身売買の悪習『琉球労働』11号●一九五五・六——293
- 一六〇―人身売買検挙状況昭和二十九年●警察庁刑事部防犯課●一九五五・六——294
- 一六一―人身売買の意識『警察時報』10巻7号●千葉正士●一九五五・七——325
- 一六二―人身売買と家族制度『警察時報』10巻7号●大浜英子●一九五五・七——329
- 一六三―人身売買をめぐる前借金返還請求事件の裁判例について『警察時報』10巻7号●判例実務研究会●一九五五・七——332
- 一六四―いわゆる人身売買の排除・防止のために『婦人と年少者』3巻7号●竹内外之●一九五五・七——335
- 一六五―いわゆる人身売買と売春の事例『婦人と年少者』3巻7号●一九五五・七——337
- 一六六―年少者の不当雇用慣行調査結果の概要いわゆる人身売買『婦人と年少者』3巻7号●一九五五・七——339
- 一六七―類発する人身売買事件『法律のひろば』8巻7号●藤原道子●一九五五・七——343
- 一六八―売春の防止のために『婦人と年少者』26号●長戸寛美●一九五五・七——347

- 一六九「松元事件」現地報告『婦人と年少者』26号●市川房枝●一九五五・七——350
- 一七〇「ゲイシヤ問題」婦人と年少者』26号●神崎清●一九五五・七——351
- 一七一「街娼婦だつたある少女の手記」婦人と年少者』26号●一九五五・七——353
- 一七二「非行少女の矯正教育に思う」青少年と共に『青少年問題』2巻8号●大平えつ●一九五五・八——354
- 一七三「声録」『青少年問題』2巻8号●一九五五・八——359
- 一七四「売られゆく子供たち九州の恐るべき実態」『青少年問題』2巻8号●志道好秀●一九五五・八——360
- 一七五「事例研究売られたある児童の二つの場合」／総合意見『青少年問題』2巻8号●中野隆雄／中山茂●一九五五・八——370
- 一七六「座談会売春問題をめぐって」『青少年問題』2巻8号●高橋展子／藤原道子／志田義信／秋元松代／神崎清●一九五五・八——374
- 一七七「親と子の立場」『青少年問題』2巻8号●井浦時雄／板山敬●一九五五・八——388
- 一七八「いわゆる人身売買事犯被害者年令別、学歴別調査」／
いわゆる人身売買事犯被害者の親元職業調査『青少年問題』2巻8号●警察庁●一九五五・八——390
- 一七九「九州の不当雇用慣行」『青少年問題』2巻8号●労働省●一九五五・八——392
- 一八〇「鹿児島県のいわゆる人身売買対策」『青少年問題』2巻8号●日高哲志●一九五五・八——399
- 一八一「群馬県のいわゆる人身売買について」『青少年問題』2巻8号●小林重盛●一九五五・八——401
- 一八二「昭和30年度における青少年に関する施策重点事項」『青少年問題』2巻8号●一九五五・八——403
- 一八三「人身売買防止運動について」一九五五・八——407
- 一八四「少女芸者の人身売買事件から芸者町の売春実態」『平和』39号●神崎清●一九五五・八——409
- 一八五「人身売買契約の法的効力」『法律時報』27巻9号●川島武宜●一九五五・九——413
- 一八六「ルポルタージュ」人買い』は生きている人身売買の実態』キング』31巻11号●石原広文●一九五五・九——417
- 一八七「長欠児をたずねて」『婦人と年少者』29号●松野ノブ●一九五五・一〇——425

- 一八八―前借金無効の判決『ジュリスト』93号●我妻栄●一九五五・一一―427
- 一八九―人身売買事件に対する懇談事項●検察庁八重山支部●一九五五・一一―430
- 一九〇―前借金について／資料前借金無効の判決『法律のひろば』8巻12号●三淵乾太郎●一九五五・一一―453
- 一九一―前借金は返還するを要しない最高裁の最近の判決について『判例タイムズ』6巻9・10号●三淵乾太郎●一九五五・一一―456
- 一九二―八重山における人身売買について『琉球労働』2巻3号●山城球●一九五五・一一―462
- 一九三―人身売買被疑事件捜査報告八検日甲第五五号●検察庁八重山支部検事●一九五五・一一―465

〔第5巻 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

- 一九四—長欠児調査点描「婦人と年少者」32号●東京婦人少年室●一九五六・二——1
- 一九五—身売防止対策「昭和二十八年冷害凶作誌」●福島県●一九五六・三——4
- 一九六—年少者の不当雇用調査報告(関東甲信越篇)「年少労働調査資料」第三八集●労働省婦人少年局●一九五六・六——10
- 一九七—田之浦漁港の児童労働の地域的背景いわゆる舟番小僧について「婦人と年少者」40号●労働省婦人少年局年少労働課●一九五六・一一——119
- 一九八—新潟地方に於ける売春状況の調査と研究主として売春機構の一断面である特飲店の実態について●新潟地方庁刑事部●一九五六・一二——122
- 一九九—北海道の凶作凶漁による人身売買「婦人と年少者」5巻2号●一九五七・一——211
- 二〇〇—冷害にくらい北海道にみる人身売買の実情「青少年問題」4巻2号●編集部●一九五七・一——214
- 二〇一—冷害地・北海道の人身売買問題「社会事業」40巻2号●編集部●一九五七・二——221
- 二〇二—婦人少年室協助員全国協議会要録昭和三十一年十一月六、七日●労働省婦人少年局●一九五七・五——224
- 二〇三—売春と人身売買の構造近畿大学法学会「法学」6巻1号●前田信二郎●一九五七・七——282
- 二〇四—怒りの孤島日映第一回作品●日映株式会社宣伝部●一九五七・八——325
- 二〇五—年少者の不当雇用調査報告(中国四国篇)「年少労働調査資料」第四二集●労働省婦人少年局●一九五七・九——407

〔第6巻 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

- 二〇六―長欠児童の就労について『婦人と年少者』6巻1号●一九五八・一——1
- 二〇七―資料日本における人身売買と売春による搾取『法律時報』30巻2号●一九五八・二——4
- 二〇八―売春婦の債務についての研究会『人権擁護局報』16号●一九五八・三——10
- 二〇九―人身売買及び他人の売春による搾取に関する報告『国連第二回アジア会議採択』婦人と年少者』6巻3号●一九五八・三——12
- 二一〇―長欠児の就労防止と保護『婦人と年少者』6巻7号●年少労働課●一九五八・七——15
- 二一一―年少者の不当雇用調査報告(近畿篇)『年少労働調査資料』第四五集●労働省婦人少年局●一九五八・九——19
- 二一二―イカ釣漁業に従事する児童労働の実態(青森県下北地区の現地調査の結果)『婦人と年少者』6巻10号●年少労働課●一九五八・一〇——159
- 二一三―働く長欠中学生近畿地区長欠就労児童実態調査『婦人と年少者』6巻10号●一九五八・一〇——162
- 二一四―長欠児童の対策について『婦人と年少者』6巻11号●佐藤三十三●一九五八・一一——168
- 二一五―婦人少年室協助員の手引●労働省婦人少年局●一九五九・二——170
- 二一六―長欠就労児童保護活動手引●労働省婦人少年局●一九五九・四——200
- 二一七―協助員のひろは 長欠児に明るい話題『婦人と年少者』7巻6号●佐藤公子●一九五九・七——333
- 二一八―長欠児童問題解決の鍵は長欠児童調査から学ぶ『婦人と年少者』7巻6号●檜山嘉蔵●一九五九・七——333
- 二一九―労働基準法中女子に関連の深い規定の違反事例並びに送致事例昭和三年『婦人と年少者』7巻9号●一九五九・九——335

三二〇 情島『民話』3巻1号●岡本定●一九六〇・一——336

三二一 山口県大島郡東和町情島／諸島視察についての総括感想 離島振興実態調査報告書一●宮本常／全国離島振興協議会刊

●一九六〇・二——348

三二二 年少労働風土記① 北海道いも掘・いか釣に働く年少者たち『婦人と年少者』8巻1号●阪本孝子●一九六〇・一——369

三二三 年少労働風土記② 福岡県堅実な産業のいない手たち『婦人と年少者』8巻3号●前田薫●一九六〇・三——372

三二四 年少労働風土記③ 岩手県山の子海の子 山かせぎの子『婦人と年少者』8巻4号●河村すみ子●一九六〇・四——375

三二五 年少労働風土記④ 栃木県有難くない里親県 県外に走る年少労働者『婦人と年少者』8巻5号●須田み江●一九六〇・五——378

三二六 年少労働風土記⑤ 石川県バツタン女学校異聞『婦人と年少者』8巻6号●川島利子●一九六〇・六——380

三二七 年少労働風土記⑥ 千葉県漁業の少年『婦人と年少者』8巻7号●神田夏子●一九六〇・七——382

三二八 年少労働風土記⑦ 奈良県労働力不足に改善のきざし『婦人と年少者』8巻8号●武部静枝●一九六〇・八——384

三二九 年少労働風土記 熊本県 県外就職 八割 農漁業依存には限界『婦人と年少者』8巻11号●清水恒子●一九六〇・一一——386

三三〇 婦人少年室協助員の手引●労働省婦人少年局●一九六〇・一〇——388

三三一 売春問題について『婦人と年少者』9巻11号●金田スミ●一九六一・一一——421

三三二 海女・おっべしの実態を探る『婦人と年少者』13巻11号●平かすみ●一九六五・一一——423

三三三 青森県におけるイカつり少年の実態『婦人と年少者』14巻6号●青森婦人少年室●一九六六・六——426